

原水爆禁止 世界大会に 参加して

8月4日～6日に広島で原水爆禁止世界大会が行われました。家族など4組9名が参加し戦争の悲惨さと、被爆者の平和への願いなどを学びました。



参加した 方々の感想

- 私は広島に行って原爆のおそろしさと今も放射線のせいで苦しんでいる被爆者がいることを改めて知りました。とても貴重な体験でした。
- そんなはずじゃないに思いました。おこのみやきおいしかったです。にじのひろばでペンギンのキャンドルを作ったのもたのしかったです。

輝さん

文さん

- 広島や長崎、原爆や戦争のことなんて知ってはいましたが実際にみたことはなく、今回、初めて広島に行き、原爆ドーム、平和記念資料館を見たり、平和記念式典に参加するなどとても貴重な体験をさせていただきました。戦争の怖さ、残酷さ、悲惨さを感じ、2度とくりかえしてはいけなくて強く思いました。

輝さん 文さんのお母さん



「ピースアクションinヒロシマ」に 参加して

- 参加してみて、内容も濃く、深く、毎年企画して、平和への思いを感性豊かな次の世代に継承し、続けてもらいたいと思いました。「虹のひろば」「広島平和記念資料館見学」「平和祈念式典参加」「記念碑めぐり」企画の中で、広島県立基町高校生が被爆者から直接話を聞き、それを絵画に表現し、虹のひろばでその思いを聞き、説明と共に掲示してあるのを観たのが最も感動し、涙が出ました。話した方も聞いた方も辛かったと思います。

青木 宣子さん

- 僕は広島に行きました。そこでいろいろ勉強してわかりました。1945年(昭和20年)に広島に一つの原子ばくだんがおちて、広島はいついっしょで家とかがばくふうなどでこわれてしまいました。かわいそうだとおもいました。もう、げんしばくだんはおとさないでほしいです。また行きたいです。

優空さん



- 子どもたちに戦争の悲惨さ、戦争とは何なのかを伝えていくことも大切なんだけど、同時に、平和の作り方も一緒に考え、行動していかなければ未来は描けないなと思いました。被爆者の平野さんの最後の言葉も「平和がいかに大切か。平和活動にまい進してほしい」でした。小学3年生になる息子と一緒にヒロシマを訪れることができ、本当に貴重な機会になりました。

川口 美穂さん

- やけどをした人はあつかったらうな、原子ばくだんの光はともあつかったらうなと思いました。せんそうは国を取り合うたかいただから、してはいけないと思いました。平和になったらいいのにな。かくへいきをなくしたら、みんながいい生活だったら、けんかがなかったり、ここちいいベッドがあつたり、子どももお金があつたりしたら。平和の方がいい。

乃理緒さん

